



会員各位

2 月も中旬になり、早いもので今年度も 1 カ月余りとなってきました。年度末業務に向けて体調管理をしっかりとおこないたいものです。今回で佐事研だより今年度最終号になります。今年度は年間を通して共通テーマとして各地区の予算・財務について掲載してきました。他地区の状況などについても参考になったものが多かったのではないのでしょうか。今回の内容は以下のとおりです。

- ・ 共通テーマ : 「各地区の予算・財務について」(武雄、杵島、鹿島藤津)
- ・ フリーテーマ : 「学校施設・設備のトラブル解決についての事例紹介」「快適なパソコン作業のために」「退職後の人生」

また、12 月に行いました Web アンケートの試行に対する協力ありがとうございました。今回は約 3 割の会員の方からの回答を頂きました。期待していたよりも回答率が低かったのは残念ですが今後はペーパーでのアンケートと合わせて効率化のために Web アンケートを積極的に活用していきたいと考えていますのでよろしくお願い致します。今回は試行ということで分析はしていませんが集計結果については会員専用ページの中で確認できますのでご覧下さい。



各地区の予算・財務について

武雄市

- ・ 市財務オンライン端末が各学校に1台ずつ設置してあります。
- ・ 武雄市では物品を購入する際は、ほとんど支出負担行為兼支出命令書で伝票を切ります。
- ・ 学校において起票する費目

学校管理費

- 需用費・・・消耗品費、印刷製本費、燃料費、光熱水費（LP ガス代）、修繕料、医薬材料費
- 役務費・・・通信運搬費（郵便料）手数料（コピーチャージ料等）
- 委託料・・・運営管理委託料（庭木剪定草払委託料）
- 原材料費・・・原材料費

教育振興費

報償費・・・報償費（校内研講師謝金）

需用費・・・消耗品費、成績表等印刷製本費、賄材料費

使用料及び賃借料・・・自動車借上料

備品購入費・・・教材備品購入費、理科備品購入費、図書購入費

L P ガス以外の光熱水費（電気代、水道代）電話代等は教育委員会で支出します。
給食室清掃、窓ガラス清掃は2年に1回市教委で発注し実施します。

他地区と比較すると学校配当の費目が少ないのが特徴。

ただし、高額なものや異例なもの等については、事前に市教委と協議をします。

・工事費は前年度11月上旬に学校から要望書を提出し、市教委総務課の視察・協議を経て予算化され、市教委で契約・支出を行います。

・教材備品費及び図書備品費は定額配当（学校規模・児童生徒数による）となっています。

ただし、学校教育課支出による管理備品（生徒用机椅子、給食用備品他高額で特殊なもの）については前年度11月上旬（予算要求時期）に当初予算要望書を提出し、査定を受け予算要求されます。

・その他の管理備品については各学校一律定額配当（学校規模・児童生徒数によらない）となっています。

・平成20年度予算要求時（平成19年）より毎年11月に次年度予算について、ヒヤリングが実施されるようになりました。

杵島地区(白石町、大町町、江北町)

白石町

・町財務オンライン端末を各学校に設置してあります。

・物品を購入する際には、支出負担行為 支出命令 支払 という段階をたどります。

予算は費目でいうと、学校一般管理費、教育振興費、情報教育費、給食の運営管理費、学校給食食材費（自校給食であった福富、有明地区のみ）に大別されます。それでは、これらの費目で特記事項のみ述べてみます。

一般管理費

・（備品購入費）毎年、各学校より教材・管理備品購入計画書を各校の端末フォルダーに打ち込み、それを地教委は全校分、品目（縦）校名（横）の一覧表を作り、かつ業者に見積依頼を出し、その結果表を作ります。学校は表をカタログで吟味し、悪かったら、適合する備品の採用を地教委へ求めます。最終的な共同購入備品見積（結果）書の提出、納品の運びとなります。上記



のことは全て町のイントラネットで行われています。

- ・(工事・修繕費) 町は20万円以上の修繕(工事)は町で対応する方針です。

ここで特筆したいのは、**施設の共同点検**、の事です。

平成20年度、つまり共同実施の全県施行(町はH20~)に伴い行っています。

町、全11校より工事修繕要望書(優先順位・写真付)を提出かつ便覧にします。

毎年、8月に地教委、学校(2名)、町財政課の総勢25人、マイクロバスで学校施設点検です。

後日、各校、工事・改修必要順位表(10位まで)を作り、共同実施室長に

提出、室長は、全体の順位表を地教委に提出します。上位10位は次年度に施工されます。



大町町

- ・町財務オンライン端末は各学校に設置してあります。町の事務補佐員は配置されていません。
- ・学校長に専決権はありません。
- ・学校に関する予算はほとんどの費目について学校で予算執行します。基本的には支出負担行為
支出命令の順で予算執行しますが、報酬、旅費、光熱水費、通信運搬費、扶助費などは兼票
で起票できます。ただし、委託料、賃借料、備品購入費などは支出負担行為の前に契約事務事
前承認伺 見積決定伺 契約締結伺の決裁が必要です。

・学校管理費

校医報酬、旅費、需用費(消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料、医薬材料費)、
役務費(通信運搬費、手数料)、委託料(清掃、浄化槽管理、電気保安、消防設備点検、剪定、
プール濾過機保守、児童・職員検診、警備業務など)、使用料及び賃借料(印刷機・コピー機・
シュレッダー・電話機など)、工事請負費、原材料費、備品購入費、負担金など

・教育振興費

報償費(講師謝金、スクールカウンセラー謝金、卒業記念品、運動会参加賞など)、旅費、需
用費(消耗品費、印刷製本費、修繕料など)、委託料(パソコン保守など)、使用料及び賃借料
(児童用パソコンなど)、備品購入費(図書、教材備品)、扶助費(準要保護、特別支援教育)
など

- ・例年1月初旬に来年度分の予算について教育委員会のヒヤリングがあります。6,9,12,3
月の補正予算で緊急に予算が必要なものについては予算要求ができます。



江北町

- ・町財務オンライン端末を各学校に設置してあります。
- ・物品を購入する際には、支出負担行為 支出命令 支払いの順で支出します。

- ・報酬、賃金、旅費、役務費、扶助費等は支出負担行為兼支出命令書(兼票)でできます。
- ・学校において起票する費目

学校管理費

報酬、賃金、旅費、需用費、役務費、原材料、備品購入費、負担金補助及び交付金

学校教育振興費

報償費、需用費(特別支援教育消耗品費のみ)、備品購入費、負担金補助及び交付金(教育振興、理科教育、同和教育、学校教育、地区中体連、県中体連、生徒指導等)、生徒奨励補助金(中体連九州大会等の生徒旅費)、扶助費

- ・財務会計システムでまず、支出負担行為票を支出し、見積書を添付して決裁を受け発注し、納品されたら支出命令書と請求書・納品書を添付し予算支出します。



藤津・鹿島

鹿島市

費目(学校配当)

- ・賃金(大工・左官・造園)
- ・旅費(司書補出張旅費)
- ・需用費(消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本費、光熱水費、修繕料)
- ・役務費(通信運搬費、その他手数料)
- ・委託料
- ・使用料及び賃借料
- ・原材料費
- ・備品購入費(一般備品、教材備品、図書備品)



予算執行について

- ・電算処理は市教委担当者が行う。学校に入力端末はなし。
- ・鹿島市長宛の伝票(請求書)を市教委教育総務課へ提出、後日「支出負担行為書兼支出命令書」が学校へ送付されるため、確認して保存。
- ・備品は共同購入を年に1度行い、共同購入実施前の緊急購入や、共同購入後の残予算がある場合は学校での単独購入を行う。
- ・備品は1万円以上であるが、備品としての取扱が妥当な物品は1万円未満でも備品として取り扱う。また、購入の際、50万円以上は契約書、10万円以上50万円未満は請書が必要。
- ・修繕料は小規模修繕をさし、請負にまで至らないものが該当。それ以外の修繕や新設工事等は市教委施設系の予算で支出を行う。全ての修繕に工事前後の写真が必要。

その他

- ・ 事務室の市職員は、司書補（嘱託） 用務員（嘱託） 用務員（市よりシルバー人材センターに委託） 事務補助はなし。また、特別支援学級には特別支援員、その他には学習支援員、スクールソーシャルワーカー、英語支援員、心の支援員が緊急雇用創出基金事業により配属されている。

嬉野市

<学校管理費>

報酬（校医等） 普通旅費（校医等・事務補・用務員） 消耗品、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料、通信運搬費、手数料（水質検査料等） 保険料（建物保険料等） 委託料（校舎警備料等） 使用料及び賃借料（PCリース料等） 備品購入費、負担・補助金

<教育振興費>

消耗品、手数料（知能検査料等） 備品購入費（生徒用図書含む） 扶助費

- ・ 財務オンライン端末が市内各校に設置されている。
- ・ 上記の予算は、一部を除き学校で予算執行が可能。
委託料や使用料及び賃借料等の契約は教育総務課で行う。
- ・ 備品（生徒用図書含む）の購入は、支出負担行為 支出命令書で行う。
物品等の購入の際、一回の支出で5万円を超えなければ、「支出負担行為兼支出命令書」で処理可能。つまり、通常の商品購入に関しては、兼命令書で対応となる。修繕についても、5万円を超えなければ、兼命令書で処理可能。
- ・ 嬉野市で単価契約している常用品（コピー用紙やトイレットペーパー等）については、必ずその業者から購入しなければならない。物品購入については市内業者育成のため市内業者を優先している。
- ・ 単価契約が結ばれていない消耗品については、5万円以上になった場合、市内及び市外業者数社の見積金額を比較して購入することになっている。
- ・ 作成した支出命令書は決裁まで行う必要がある。ただし、学校長専決分のみ。
- ・ 校長の決裁権： 消耗品：5万円未満 修繕料：5万円未満
- ・ 管理備品・教材備品は、市内全体で共同購入を行う。各校教科担当者には前年度の11月頃、備品要望書を提出してもらう。実際の備品購入については、翌5月～6月頃、再度提出された要望書をもとに各校で判断。
- ・ 予算については、毎月1回以上行う共同実施の際、教育総務課の担当者から説明。
- ・ 市内の事務補・用務員は、市職員ではなく、派遣会社を通じて派遣されている。（正規職員の学校もある）給与は委託料として各校予算に含まれており、予算執行は教育総務課で行う。
- ・ 嬉野市では、嬉野市茶業研修施設「嬉茶楽館（きんさらんかん）」より、来客用のお茶をもらっている。

太良町

【平成 21 年度現在】

学校数：小学校 2 校(分校 1)、中学校 2 校

児童生徒数：小学校約 600 名、中学校約 350 名



1. 予算の特色

予算要求時に総枠の提示があり、その枠内で予算費目を振り分け要求する
近隣市町に比べ町全体の予算に対する学校教育費の割合が 16.29%と高い
平成 21 年度当初予算 小学校費 2,315 万円、中学校費 1,972 万円

- ・ 予算細目に管理費・振興費・高度情報教育推進費があり、以下の細節合計が

消耗品費：小学校費約 1,055 万円、中学校約 674 万円

備品購入費：小学校費約 327 万円、中学校約 277 万円

ICT を活用した教育を推進中

- ・ 高度情報教育推進事業費(枠内)として、小学校約 115 万円、中学校約 80 万円を予算化している
- ・ パソコンを職員一人当たり 1 台の貸与、児童生徒 3.6 人あたりに 1 台整備
- ・ 平成 21 年度 ICT 環境整備事業(約 6,000 万円)を行う
 - ・ 小学校 PC 教室パソコンの入替(中学校は平成 20 年度に入替済み)と周辺機器の購入
 - ・ 教育用テレビ(地デジ対応)の購入
 - ・ 地域イントラを利用したグループウェア(スクールネットシステム)の導入
 - ・ 各校 1 名常勤 ICT 支援員の派遣

平成 21 年度より耐震補強工事を開始し、平成 23 年度末には耐震化率 100%を目指す。

- ・ 平成 21 年度校舎・体育館 4 棟の耐震補強工事完了

2. 予算執行について

財務端末の導入による事務の効率化

学校長の予算専決権無し



学校施設・設備のトラブル解決についての事例紹介

こんなことがありましたケース 1 .

状況

- ・ 年 2 回の防災設備点検：毎回 4 ～ 5 箇所のスピーカー不良発生。
- ・ 普段：音量を最大にしているのに、聞こえが悪い。

対応

- ・ 職員による一斉点検 音量の調整が効かない教室や音量調整のツマミの機能がまったく逆になってしまっている教室を発見。
- ・ 放送設備専門業者に点検依頼

原因・留意点

- ・ 原因は配線の誤り。ある教室の音量調節の配線が逆になっていたことにより、音量調節が効かなくなる箇所が発生。
- ・ 電流の過負荷が生じ、スピーカー機器自体を故障させてしまっていた。

こんなことがありましたケース 2 .

状況

- ・ GHP エアコン（ガス）の効きが悪い。
- ・ フィルターの清掃をしたあと様子を見ていたが、リモコンにエラーの表示がされ、ついには動作しない状況になってしまった。

対応

- ・ メーカーに問い合わせた後、業者へ修繕を依頼する。

原因

- ・ ガス欠。
- ・ 室内機と室外機をつなぐ配管。その配管同士の接触部分に、運転時に生じる振動が加わったことで摩擦が起こり、配管に亀裂が生じた。

こんなことがありましたケース 3 .

状況

- ・ 体育館アリーナに設置されている掛け時計が、正確に時間を示さないため確認したところ、親時計の寿命と判明した。

対応

- ・ 設置業者を含め 3 社から見積もりをとり、金額で折り合った業者に決定した。
- ・ 親時計、子時計を交換し、古い時計を処分してもらった。（金額約 20 万円）

引用：学校事務 2010 年 1 月号別冊付録

「必備！学校施設・設備の基礎基本」現代学校事務研究会著



快適なパソコン作業のために

日々のお仕事おつかれさまです。デスクワーク主体の仕事をしていると、月末の繁忙期などに、「一日中パソコン使っていると目や肩、腰に来るんだよな。」なんて感じることも、ありませんか。

VDT (visual display terminals) 症候群などと呼ばれるパソコン作業での疲労は、日ごろのちょっとした工夫や予防で軽減できるそうです。机や椅子の調整は姿勢や疲れ具合に影響しますし、適度な休憩と、軽い体操など運動の組み合わせは腰痛や肩こりの軽減に効果的です。今回はこれらとは別に、ノートパソコン自体の自己流活用例を紹介します。

以前のデスクトップと比べ本体の小さいノートパソコンですが、机の奥にあると前傾姿勢や猫背になり、手前に置くと使える机上スペースが狭くなり資料置き場に困ります。意外と場所を取るばかりか、見やすさ、入力しやすさまで考慮すると、満足できる配置は難しいものです。

疲労の少ないパソコン配置の目安として、キーボード操作は手を自然に下ろし、机上加肘かけにひじが乗る位置。画面は目から4～50cm離し、液晶上端を目の高さか、やや低い位置にするといいそうです。しかしキーボードと画面が一体のノートパソコンでは全てを適切には配置できず、無理な姿勢になりがちでした。そこで、外付けキーボードを導入してキーボードと画面と分離し、それぞれ快適な配置を工夫しました。

まず、パソコン本体を自作のスタンド上に置き画面の高さを調整、机の奥に配置しました。そこにコードレスキーボードを接続することで、画面の位置に影響なく自由に楽な位置での入力作業ができます。従来キーボード (= 画面) の後方は画面の影で使えないスペースでしたが、分離することで机上加が広く無駄なく使えます。本体のキーボード上まで見やすい傾斜原稿台に使えます。これで見やすさ、入力しやすさ、スペース確保がすべて解決です。有線接続のキーボードなら1000円程度から、スタンドは2000円程度から買えます。スタンドは簡単に自作でき、低めのレターケースに載せるだけでも十分です。マウスやテンキーの感覚でキーボードを外付け。簡単なわりに結構、快適ですよ。

参 考 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/04/h0405-4.html>

U R L 富士通 http://jp.fujitsu.com/about/design/ud/vdt/index_page3.html

江崎外科内科 <http://www.esaki-clinic.or.jp/byouki/vdt.html>



退職後の人生

昨年度末に退職された先生の一人にお願いして近況について書いて頂きましたので原文をそのまま掲載します。

学校運営支援室の皆様、日々の業務実践ご苦労様です。私 3 月に退職しましたので近況報告をしたいと思います。

退職後しばらくは、残務整理やら、事務室との連絡等で何かと出向いたり、また 4 月には地元の記事へ役員として参加することも多く、気分的には 5 月になって一段落しました。以前から退職後は魚釣りや畑仕事（自宅周りに 100 坪程度）を続けてゆきたいと考えていたので、5 月の連休の前くらいから野菜づくりにかかりました。今までは手入れができてなかった雑草地を整地し、土づくりをしながら、家庭菜園を始めることとしました。まずトマト他夏野菜をいろいろ植え、安全安心のために農薬は最低限使うこととし、幸い近所から毎年牛糞堆肥を分けてもらうので、化学肥料とあわせて有機肥料をつとめて使うようにした。また土づくりのための堆肥用の木枠も作り、ぬいた草や剪定くずを貯めるようにしています。今年は全般に虫食いや、見栄えが良くない野菜も多かったが、一応食卓をにぎあわせることができ満足でした。

また、釣りの方は以前からよく行っていたが、退職を機にさらに専念することとしました。幸い釣り仲間もリタイア組なので、いつでも釣行できるようになり休日限定だった以前に比べ好条件（天候、潮、時間等）の日に行けるので、釣果も上がりました。釣り方は船からの漂流し釣り（大型棒浮木、アミかご使用）でシーズンの頃は効率よく釣果がある。ただ天気予報と違い波が高いときは、釣りにならずに途中で引き返すこともある。釣った魚は刺身など自ら調理するようにし、多い時は近所へおすそわけもしています。釣りは暑さ寒さの中なので、たまに体力を消耗しバテることがあるので、当たり前のことですが、何事も体調の管理、健康が基本だと思っています。

釣りも家庭菜園も健康づくりと新鮮な食卓の楽しみには十分です。これからも、楽しみながら続けてゆきたいと思います。

